

特集

NP 教育の成果を探る

巻頭言 草間朋子, 村嶋幸代

大学院における NP 養成教育と法制化 山西文子, 藤内美保

NP の成果—そのアウトカムとエビデンス

一般病院における成果／訪問看護・在宅医療における成果／老人保健施設, 重症心身障害児施設等における成果／
看護の視点からみた成果

〈座談会〉政策につながる研究, NP の新たな発展をめざして

草間朋子, 村嶋幸代, 真田弘美, 深井照美

米国で NP の発展に寄与した研究 Jamesetta A. Newland

【特別記事】

看護における知的財産活動の活性化のために—看護系大学における知的財産活動 丞村宏

【連載】

混合研究法入門・4 抱井尚子

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ・4 小玉淑巨, 那須佳津美

USCF で看護研究を学ぶ・4 齋藤真希

編集後記

●昨年の増刊号「博士論文を書くということ」「研究者が育つ過程」はおかげさまで好評をいただき、それに気をよくして(?), 本年も若手の方々に登場いただきました。企画段階で、大学院数がますます増加していることを実感しました。看護への情熱にあふれ、キラリ光るものをおもちの院生さんは全国にまだまだたくさんいらっしゃると思います。私自身がカバーしきれていない反省も踏まえつつ、どうか折に触れてご紹介くださいますと幸いです。自薦もお待ちしております。そのために、一層読まれる誌面づくりをめざすべしと、気を引き締め直す編集後記です。●昨年の第34回日本看護科学学会学術集会における文化人類学と看護学の交流集会では、非常に自然した議論が交わされました。2本の特別記事から、その熱気は伝わったでしょうか。質的研究をめぐる重要な提起がなされていますので、ぜひ読者の方々も、文字の形でふるってご参加いただけたらと思います。(小長谷)

看護研究 第48巻 第4号(通巻260号) 2015年7月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2015, Printed in Japan

販売部 (03) 3817-5659 社内案内 (03) 3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室: (03) 3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当/小長谷・早田
1部定価 1,900円+税

2015年年間購読料(税込, 送料弊社負担, 増刊号を含む年7冊): 冊子版 13,025円 冊子+電子版/個人 16,265円 冊子+電子版/共有 18,274円 電子版/個人 13,025円 電子版/共有 15,034円

〈学割年間購読料〉冊子版 10,498円 冊子+電子版/個人 13,738円 電子版/個人 10,498円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問(五十音順)

小島操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西睦子

前国際医療福祉大学・教授

前原澄子

京都橘大学看護教育研修センター・所長

南 裕子

高知県立大学・学長

●編集協力者

阿曾洋子/荒川靖子

井部俊子/蝦名美智子

太田喜久子/岡谷恵子

片田範子/金井Pak 雅子

上泉和子/川口孝泰

河口てる子/川村佐和子

黒田裕子/高橋泰子

近田敬子/筒井真優美

水流聡子/野嶋佐由美

早川和生/舟島なをみ

村嶋幸代/森 恵美

安酸史子/山本あい子

横尾京子

看護研究バックナンバー

Vol.
48
No.
3
May
Jun

●特集 | 医療権力論—看護界・医療界はいま

看護師は医療という権力装置の尖兵であるという自覚をもつべきである

—医療権力論, revisited & reflected 中本高夫

看護師の批判的思考を研究に活かすために—日本の質的看護研究における理論の活用可能性
谷津裕子

生体肝移植ドナーの語りにみる“健康体”という幻想 永田明

助産師の語りにみる“母乳育児推進”という権力装置 濱田真由美

小児気管支喘息にまつわる言説と子どもの体験 深谷基裕

“更年期”をめぐる言説に戸惑う女性たち 新田真弓

〈特別記事〉

【第34回日本看護科学学会学術集会／(株)医学書院共催ランチョンセミナーより】

事象が分析方法を教えてくれるとは？—現象学的研究入門 西村ユミ

〈研究報告〉

中高年看護師の職業的キャリア成熟度の特徴と関連する要因 近藤暁子, 小泉麻美

〈連載〉

混合研究法入門③ 混合研究法の手続き(その1) 抱井尚子

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ③ オランダの研究から日本の看護師の専門的能力開発のあり方を考える 井尻弓子
申し送りにみる文化 佐藤可奈

UCSFで看護研究を学ぶ③ サンフランシスコでの留学生活 齋藤真希

Vol.
48
No.
2
Mar
Apr

●特集 | 遠隔看護とイノベーション—在宅医療の新展開

遠隔看護の現在と在宅医療におけるその役割 川口孝泰

遠隔看護の歴史と研究の変遷 豊増佳子

遠隔看護におけるデバイス開発と応用事例 荒木大地遠隔看護の取り組み事例

遠隔看護の取り組み事例—慢性疾患患者のサポート 日向野香織, 柴山大賀, 林啓子, 川口孝泰

遠隔看護のクラウドベースでの実用化をめざして 川口孝泰, 豊増佳子, 西山直美, 内藤隆宏

訪問看護における遠隔看護への期待 林啓子

遠隔看護における情報教育の整備と看護師の役割 内藤隆宏, 浅野美礼

〈研究ノート〉

現象学的研究をめざす人に具体的な手掛かりを提供—『現象学的看護研究』を読んで 山本則子

〈研究報告〉

高齢者のいわゆる「おむつ皮膚炎」に対する治療アルゴリズムの提案

常深祐一郎, 福田亮子, 出口亜紀子, 川島真

〈連載〉

混合研究法入門② 混合研究法の歴史的発展と現状 抱井尚子

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ② 認知症患者を対象とする介入研究の難しさ 佐藤可奈
非薬物療法の効果を示すために 廣岡佳代

UCSFで看護研究を学ぶ② サンフランシスコでの留学生活 齋藤真希

Vol.
48
No.
1
Jan
Feb

●特集 | 看護研究から政策をうみだすために

A Preamble to Shaping Health Policy through Nursing Research

Patricia A. Grady, Ada Sue Hinshaw 【翻訳】緒方泰子, 深堀浩樹

NINR とは何か?—その歴史と看護研究における役割 前田留美, 深堀浩樹, 丸光恵

政策につながる看護研究の動向と今後の展望—退院支援の研究を例に 坂井志麻

政策につながる看護研究の実践—少子化社会における妊娠・出産・子育てにかかわる政策に向けた研究
福島富士子

日本の看護系大学院における教育者・研究者の養成

—看護学教育者, 研究者養成につながる行政官の活動例 石橋みゆき

【インタビュー】看護学研究者に対する国会議員からの期待 石田昌宏 【聞き手】深堀浩樹

〈連載〉

混合研究法入門①[新連載] 混合研究法コミュニティの多様性 抱井尚子

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ①[新連載] 連載開始にあたって—何を海外の看護学研究から学ぶのか 深堀浩樹
看護の価値を主張するためには 大山裕美子

UCSFで看護研究を学ぶ①[新連載] フルブライト留学までの道のり 齋藤真希

